



お問い合わせは
川前支所まで！
(TEL 0246-84-2111)

こんにちは！川前地区地域おこし協力隊の長郷優佳です。
おでんと鍋の美味しさが染みる季節になってきました。皆さんのオススメのおでんの具や鍋の味はありますか？私ははんぺんとトマトスープ鍋が好きです。きりたんぼやすき焼きも大好きなので、年末年始で実家に帰った際にリクエストしようと思います！

婚活の実情

結婚相談所で実際に起こったことを元に、婚活中男女の実情と婚活アドバイザーからの婚活のコツについて紹介します。婚活を始める際にも、現在婚活中の方も、結婚支援をされてる方も、ぜひご活用ください！（参考：著 植草美幸 ドキュメント「婚活」サバイバル）



【結婚相談所マリーミー代表、婚活アドバイザーの植草美幸氏が感じたこと】

恋愛経験がある程度ある人は、
婚活を始めたら**比較的早く結婚する**

恋愛経験が少ない人は**八方塞がり**

コミュニケーションもうまく取れない
そもそも誰を選んでいいのかわからない

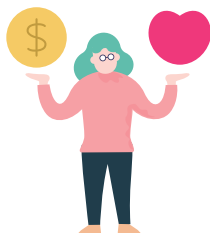
POINT

20代で結婚する男性は、そもそも、学生時代からお付き合いしている女性と結婚する機会が多い。そのため、20代女性は、30代かそれ以上の男性とお見合いする機会が多くなります。お見合いの申込数は多いですが、学生時代のような幼稚な話しができないと、男性に愛想を尽かされます。**今の時代、若さだけで婚活を乗り切るのは難しそうです。**とにかく全面に感情が出てきてしまう人（特に女性に多い）は、相手から引かれてしまいます。**男女共に、明るく素直に細かいことに文句をつけないことが婚活のコツ**です。相手が話さないのは、あなたが質問していないからかも？

年収は〇〇万円以上

留学経験アリ

職業は〇〇か□□



POINT

結婚の多様化が進んだということは、**結婚相手に求める条件の幅が広がった**ということ。例えば、「週末婚」や「年の差婚」などがあります。幅を広げるほど、成婚率は高くなります。そんな中、**結婚相談所や結婚支援者が一番困ってしまうのは、「固定観念にガチガチに縛られている人」**。狭い層だけ狙っていても成婚できません。結婚は夢ではなく生活。**思い込みや価値観を見直し、自分の老いを受け入れ、現実を見ましょう。**

相手好みの服装

相手の生活リズム

相手の趣味

自己開示



POINT

結婚という一世一代の大きなイベントに、コロナウイルス感染症などの不安定な社会情勢が絡んできたために、婚活現場も婚活中の人の精神状態も、大きく変化しています。**人に出会う機会が少ないため、人間力も恋愛力も低下**しているのかもしれませんが。結婚相談所でお見合いをしているにも関わらず、結婚よりもまず恋愛がしたい、幸せな時間を引き伸ばしたいと考える男性は、おそらく、学生時代にあまり恋愛をしてこなかったと思われます。「変化」という犠牲を負わず、今の自分のままでは、「結婚生活」というドリームは手に入りません。「**婚活しているから**」という**安心感に満足せず、相手の人間性や人生観にまで関心を持ってみましょう。**

親はあくまでも、
結婚希望者にとっての
「サポーター」

POINT

結婚できない人の3割は親が原因！？自分からは絶対に提案しないのに、相手の意見は気に入らない人。結婚相談所でのカウンセリング中に何度も母親から電話がかかってくる人。息子の仮交際相手へのプレゼントを買いに行く母親。息子の意見を聞かずに、勝手に破断してしまう母親。一人暮らしの息子や娘の部屋に合鍵で勝手に上がり込み、一生懸命掃除をして、冷蔵庫の中を補充して帰る過保護な親。**子の結婚は子の人生の大きな決断です。結婚希望者自身の気持ちを尊重しましょう。**「子供がなかなか結婚できないの」とお悩みの親御さんは、一度ご自身の言動を振り返って見た方がいいと思います。

